

クローズアップ天王寺

花とみどりあふれる 豊かなまちをめざして

先駆けは天王寺

区役所や区民センター、クレオ大阪中央の玄関前など、公共の場で愛らしく咲く花々を目にしたことはありませんか。これらの花々の植え替えをお手伝いしているのが緑化ボランティアグループのグリーンナリー天王寺。花とみどりあふれる住みやすいまちに“を合言葉に緑化活動に取り組んでいます。発足は2006(平成18)年で、当時のメンバーは30名ほど。当初からのメンバーで、代表の田原恵美子さんによれば、緑化ボランティア活動は今でこそ大阪市内の各区で盛んなものの、先駆けは天王寺区だそうです。

「区役所は区の顔、もつと美しくしたいと、緑化リーダーのボランティアグループが区役所玄関前の花飾りをしていました。そこに十数年前、大阪市のイベント『はならんまん』への市民花壇の出演依頼があつたのがきっかけです。天王寺区の花壇を作るなら、区内の他の緑化リーダーと一緒にと思い、各地域

に呼びかけてグリーンナリー天王寺が発足しました。現在は82名が会員として活動しています」

輝く子どもの目

活動内容は、「はならんまん」への市民花壇の出演、緑化相談や緑化講習会の開催、区民まつりへの参加など、実に多様。特に力を入れているのが、種から育てる地域の花づくりです。

「区役所裏の駐輪場の一角で種から花苗を育てる活動をしています。出番を待つ花苗が育つ場所ということ、私たちがその場所を『花のゆりかご』と呼んでいます。育てた花は区内の小学



▲グリーンナリー天王寺代表 田原恵美子さん



▲区役所玄関前を彩る花々
ノースポールやパンジー、ムルチコーレなど。これからの季節はペチュニアやペンタス、トレニアなどが登場予定。

校や公園、区役所玄関前など公共の場に植え付けます。区役所玄関前の花の植え付けには、市立五条小学校4年生の子どもたちも総合学習の一環として参加します。事前に15分ほど植え方や手入れの方法を教えるだけで、子どもたちがきちんと植えてくれるのには、驚きます。活動中は真剣そのもので、目がだんだん輝いてくるんです。『もつとやりたい』という声を聞くと、うれしくなりますね」

花に宿る不思議な力

意外にも田原さんは、もともとは園芸が趣味ではなく、ふとしたきっかけで活動を始めたそうです。それが、花の色に魅せられ、花に宿る不思議な力では大の愛好家。

「疲れていても、育てている花を見たら、枯れた花が残っている、雑草が生えてきた、と気になって。つい世話を始め、気が付くと疲れていたのも忘れて、すっかり夢中になっています。花は人を元気にする力があると感じますね」

公園に遊びに訪れた親子も、普段は花に興味がなくとも、お弁当を広げる時は花のほうを向いていることが多いそうです。また、緑化活動に参加した親子は、その後も花の話題で会話が弾むとか。

「そんな光景を見ると、人が花を求めている気がして、励みになります」



▲グリーンナリー天王寺の活動風景
区役所裏の「花のゆりかご」で和気あいあいと活動しています。

花を植え育てる人をサポート
グリーンナリー天王寺は今、区民の皆さんが自身で花を植え育てていけるようサポートするという新しい取り組みを始めています。
「毎日過」ご身近な場所を花で飾りたいけれど、花の植え方、育て方がわからないとの声をよく耳にします。そんな方々が自身で種をまき、花の手入れまでできるように、お手伝いしていきますね」
それぞれが過ごす場所を花で彩り、居心地よくしていけば、地域がどんどん住みよくなっていく。それがグリーンナリー天王寺の理想です。

花と緑がある美しいまちに

「十分に手入れが行き届いた花壇でなくてもいいと思うんです。そこに花が咲いているだけで、ホッと心が和みませんか」

暮らしているまちや身近な場所がきれいに清掃されていても、そこに花や緑がなければ、味気ない。そう田原さんは話します。

「今では他の区でも緑化ボランティア活動が盛んで、それぞれ熱心に取り組んでおられます。そんな方々と切磋琢磨しながら、大阪市全体が花と緑あふれる美しいまちになれば大変うれしいです」

地域に貢献できて、仲間の輪も広がる緑化活動。花を育てることによって元気が湧き、心も豊かになります。そんな活動に皆さんも参加してみませんか。



▲グリーンナリー天王寺の皆さん



▲幹事による定例会
定例会では活動方針などを決め、各地域のメンバーに伝えています。

目次

●クローズアップ天王寺

グリーンナリー天王寺 2

●お知らせ 3

●保健衛生 4

●子育て情報 5

●イベント情報 6

●わがまち天王寺 8

●おおさか掲示板 9

●区長通信／インターンシップ事業／

区役所案内 12